

第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
アイチダイガク	ケイエイガクブ	フルカワチトセゼミ
愛知大学	経営学部	古川千歳ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
レイワーズ	ナガタ ナナミ	4
令和's	永田 七海	

研究テーマ（発表タイトル）

日本文化発信～あなたは説明できる？～

1. 研究概要（目的・狙いなど）

今年開催されたラグビーワールドカップや2020東京オリンピック・パラリンピックなど、日本が世界の中心となるイベントが続いており「日本」は世界から注目されている。訪日外国人も年々増加しており、政府は日本を発信するクールジャパン戦略や日本博などを行っている。日本の文化を発信する側として、外国人に説明することができるだろうか。

そこで私たちは日本人の日本文化理解度に着目した。

今後日本国内でも、外国人と接する機会が増えると予想されるため、一層日本文化理解をしておくことが重要なことだと考える。私たち自身が日本文化理解を高めるために、まずは私たちの愛知大学の既存の「さくら21プロジェクト」を活用する案を提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

【世界から日本への注目】

日本の自然、食文化、ポップカルチャーなどが近年世界で注目を集めており、また2013年には「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本文化に対する諸外国の関心の高さが伺える。こうした流れから日本政府は「クールジャパン戦略」や「日本博」といった日本文化発信の取り組みを積極的に行っている。

【大学の取り組み】

政府が日本文化発信の取り組みを行う中で、大学も日本文化理解を重要視している。私たちの愛知大学には「さくら21プロジェクト」がある。これは外国語能力、異文化理解力の養成に加えさらに日本を深く理解し外に向けて発信する力、つまり「日本理解力」と「日本発信力」を身につけることが重要と考えた取り組みである。また明治学院大学のグローバル法学科では日本の文化や海外から見た日本の姿を学ぶ授業が必須であり、聖徳学園の人間教育プログラムの国際人教育では「国際交流の第一歩は自国の文化を十分に知ること」が大切とされている。

3. 研究テーマの課題

日本人は日本文化を理解していないことが課題である。研究を行っていくうえで外国人が「知りたい日本」と日本人が「知ってほしい日本」が一緒であることが分かった。しかしそれらを説明できないことが問題であった。この結果から日本人は外国人が「知りたい日本」について理解しておくことが重要であると考え。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

日本文化理解を日本人学生が高められるように、愛知大学の「さくら 2 1 プロジェクト」を活用した提案をする。

【提案 1】

JICA の研修員を対象とした IF の会が行っている日本文化体験教室があることを愛知大学生に発信する交流事業に参加すると体験もでき、外国人の方に対して説明の仕方や深い理解を得られる。

【提案 2】

市民交流事業のスケジュールにハイカルチャー（美術、音楽、舞踊などの芸術といった日本の文化）だけではなく、ポップカルチャー（漫画やアニメ、ファッションといった日本の文化）も入れるべきだという提案をする。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

【1. 日本人大学生にアンケート】

調査目的：日本人大学生の日本文化理解の現状を知るため

調査手法：Google フォームを使った web アンケート

調査実施日：2019年9月17～24日

回答者数：101

【2. 外国人にアンケート】

調査目的：外国人の日本の文化に対する関心の現状を知るため

調査手法：Google フォームを使った web アンケート

調査実施日：2019年9月17～24日

回答者数：42

6. 結果や今後の取り組み

愛知大学の開講科目の日本文化を取り扱っている授業内で日本文化体験教室を宣伝、告知とともに、文化体験教室の参加を授業評価対象の一環とすることが可能か教授に調査。愛知大学で行われているさくら 21 プロジェクトを推進している方に、文化体験教室にポップカルチャーを導入できるか提案。

7. 参考文献

JINT 日本政府観光局「年別 訪日外客数の推移」<https://statistics.jnto.go.jp/graph/#graph--inbound--travelers--transition>（最終アクセス日 2019年11月8日）

内閣府「世論調査：東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査 図 1 5 世界に対して日本の何を発信するか」<https://survey.gov-online.go.jp/h27/h27-tokyo/zh/z15.html>（最終アクセス日 2019年11月8日）

内閣府「クールジャパン戦略について」https://www.cao.go.jp/cool_japan/about/about.html（最終アクセス日 2019年11月8日）

内閣府知的財産戦略推進事務局「クールジャパン戦略について」2019年9月

https://www.cao.go.jp/cool_japan/about/pdf/190903_cjppt.pdf

文化庁「日本博」<http://www.bunka.go.jp/seisaku/nihonhaku/index.html>（最終アクセス日 2019年11

月8日)

独立行政法人 日本芸術文化振興会「日本博について」2019年7月

http://www.bunka.go.jp/seisaku/nihonhaku/pdf/r1413086_02.pdf

愛知大学「グローバル人材育成：さくら21」http://www.aichi-u.ac.jp/global_project/sakura（最終アクセス日2019年11月8日）

佐々木聖「UPDATE 知の現場：明治学院大グローバル法学科」『日本経済新聞』2019年6月19日、朝刊、27ページ

聖徳学園「人間教育プログラム」<http://www.seitoku.jp/gakuen/wa0801/contents06/index01.html>（最終アクセス日2019年11月8日）

藤巻光浩、宮崎新（2019）「グローバル社会のコミュニケーション学入門」株式会社 ひつじ書房 p.58-60

総務省「グローバル人材育成の推進に関する政策評価」

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/107317_00009.html（最終アクセス日2019年11月8日）

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

【企画シート作成上の注意】 ※「第10回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただきます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑